



これまでの地方消費者行政充実シンポジウム開催地でのその後について

富里市、香取市

写真撮影 前野さん

平成24年度第2回富里市消費者行政推進会議 2013年3月27日

(平成23年1月22日シンポジウム開催)



産業まつりで行った「消費生活に関するアンケート」、消費生活センターを65.2%の市民が知っていました。オブザーバーとして参加した消費者行政充実ネットちば弁護士事務局長が消費者問題に関心をもち活躍する人材の育成の重要性を発言しました。

香取市 消費生活センター実現報告会 2013年4月16日



2010年10月の「消費者シンポジウム in 香取」から2年半、思わぬ東日本大震災による市内の被害等も乗り越えて、香取市消費者問題対策ネットワークの地道な活動、市議と勉強会などを通し、「香取市消費生活センター」が実現しました。

消費者行政の充実について考えるシンポジウム

～消費者被害根絶に向けた地域のネットワーク作りを目指して～ 2013年4月20日

千葉県弁護士会、日本弁護士連合会、関東弁護士連合会主催のシンポジウムが開かれました。日弁連副会長佐野善房弁護士、千葉県弁護士会会長湯川芳朗弁護士の挨拶の後、日弁連消費者問題対策委員会前委員長池本誠司弁護士による「消費者行政の充実と消費者市民社会」と題した基調報告が行われました。これまでの消費者行政の〈行政集中型〉による消費者啓発や被害発見から、地域住民・団体の消費者トラブルの発見能力を育成して行政と地域住民の間の中継局とする〈地域中継型〉への移行、消費者市民社会の実現の為に私達消費者がとるべき行動など意義深い報告がなされました。

つづいて千葉県環境生活部県民生活課池田美明副課長による「千葉県における消費者行政の概要について」、柏市市民生活部消費生活センター主幹中村公彦氏による「柏市における消費者行政の取り組みについて」、千葉県弁護士会消費者問題委員会委員米良英剛弁護士による「千葉県弁護士会消費者問題委員会の取り組みについて」の各報告がなされました。

休憩をはさみ、千葉県弁護士会消費者問題委員会委員陶山嘉代弁護士（茶のしずく石鹼被害対策弁護団千葉県団長）をコーディネーターにパネルディスカッションが行われました。基調報告をいただいた池本誠司弁護士をはじめ、真田英明氏（南房総市商工観光課主任主事）、山口美智子氏（白井市地域包括支援センター主任介護支援専門員）、消費者行政充実ネットちばを代表して幹事の丸山芳高氏、佐藤静江（千葉県消費者センター消費生活指導員）がパネラーを務めました。それぞれの立場から「消費者被害の実情と対策について」、「地域活動と地域の連携による消費者被害の予防・救済について」、「消費生活相談窓口の機能・役割と県内自治体の消費生活相談窓口の充実強化の必要性について」をテーマに活発に意見交換を行いました。途中、柏市中村公彦氏からは柏市消費生活コーディネータ制度という県内でも画期的な取り組みの成果と今後の課題について会場発言があり、香取市消費生活センターの実現までの経緯報告が香取市消費者問題対策ネットワークを代表して事務局長の植野玄治氏からなされました。最後に千葉県弁護士会消費者問題委員会委員長律師徳彦弁護士の閉会の言葉でシンポジウムは終了しました。



写真撮影 小柳さん

今後の活動 5月21日(火)「消費者フォーラム in 千葉」千葉市文化センター(3階)アートホール
関東ブロックの消費者庁地方消費者グループ・フォーラムが千葉県で開催される予定です。